

# 法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-10-26

## 甲第三十一号

---

(発行年 / Year)

1910

七四乃至七七、第八五三乃至八五六  
第五百三十六條 前二條ニ掲ケタル契約ニ基因スル抗辯

ハ債務者之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得

(參照)獨一章四一六同二章二八六

第五百三十七條 本款ノ規定ハ別段ノ定アル場合ニハ之

ヲ適用セス

(參照)附三三五一項瑞債務法二〇四一二八二項モンテテグ

ロ五三八獨一章三六二、三六四、四一二乃至四一四、四一六同

二章二七一、一項二八〇、二項乃至二八三、甲契約法五二



### 甲第三十一號

明治二十八年四月十九日配付

#### 第三款 契約ノ解除

第五百三十八條 契約又ハ法律ノ規定ニ依リ當事者ノ一

方カ解除權ヲ有スルトキハ其解除ハ相手方ニ對スル意

思表示ニ依リテ之ヲ爲ス

前項ノ意思表示ハ之ヲ取消スコトヲ得ス

(參照)附四二一二項四二二五六一取八一佛一二三四一一八

四一六五六附一三〇二、伊一二三六一一六五三項瑞債務法

一二二、獨一章四二六同二章三〇〇

第五百三十九條 當事者ノ一方カ其債務ヲ履行セザルト

キハ相手方ハ相當ノ期間ヲ定メテ其履行ヲ催告シ若シ

其期間内ニ履行ナキトキハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

(參照)附四二一取八一、商三二三、五四五佛一一八四一、六五四

乃至一六五七、澳九一九九二〇、附一三〇二、一一五一、六一、五五

三、一五五四、伊一一六五、葡七〇九一、五八五、瑞債務法一二二、

モンテテテグロ五四八、西一一二四、白草一一八一、獨一章四三

六回二章三〇九回商三五四乃至三五六條一四三六巴草二編三六五

### 第五百四十條

契約ノ性質又ハ當事者ノ意思ニ依リ一定ノ日時又ハ一定ノ期間内ニ履行ヲ爲スニ非ザレハ契約ノ目的ヲ達スル能ハサル場合ニ於テ當事者ノ一方カ履行ヲ爲サスシテ其時期ヲ經過シタルトキハ相手方ハ前條ノ催告ヲ爲サスシテ直チニ其契約ヲ解除スルコトヲ得

(參照) 瑞債務法一二三二四二三四五五五  
商三五七條八六五巴草二編三六六

### 第五百四十一條

履行ノ全部又ハ一部ノ不能カ債務者ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リテ生シタルトキハ債權者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

(參照) 卅四二〇獨一章三六九回二章二七六

### 第五百四十二條

當事者ノ一方カ數人アル場合ニ於テハ契約ノ解除ハ其全員ヨリ又ハ其全員ニ對シテノミ之ヲ

爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ解除權カ當事者中ノ一人ニ付テ消滅スルトキハ他ノ者ニ付テモ亦消滅ス

(參照) 獨一章四三三回二章三〇五普國法一部一章二八〇  
二八一、索九一〇、一一一六

### 第五百四十三條

當事者ノ一方カ其解除權ヲ行使シタルトキハ各當事者ハ其相手方ノ原狀ニ復セシムル義務ヲ負フ但第三者ノ權利ヲ害スルコトヲ得ス

前項ノ場合ニ於テ返還スヘキ金銭ニハ其受領ノ時ヨリ利息ヲ附スルコトヲ要ス

解除權ノ行使ハ損害賠償ノ請求ヲ妨ケス

(參照) 卅四〇九二項四二二、四二四、五六一、取八一、佛一一八三、

獨一三〇、一、一三〇、二、伊一一六四、一、六五二項、葡六九七瑞

債務法一二四、モンテネグロ五四八獨一章四二七回二章二

九八回商三五四普國法一部一章三三一、索九一一乃至九

一四一一〇九巴草二編三二六三六三六六

第五百四十四條 第五百三十一條ノ規定ハ前條ノ場合ニ  
之ヲ準用ス

(參照)獨一章四二八同二章二九九

第五百四十五條 解除權ノ行使ニ付キ期間ノ定ナキトキ  
ハ相手方ハ解除權ヲ有スル者ニ對シ相當ノ期間ヲ定メ  
其期間内ニ解除ヲ爲スヤ否ヤヲ確答スヘキ旨ヲ催告ス  
ルコトヲ得若シ其期間内ニ解除ノ通知ヲ受ケザルトキ  
ハ解除權ハ消滅ス

(參照)取八三伊一五一三一項獨一章四三二四七五同二章三

○四普國法一部一章三三一索一〇八

第五百四十六條 解除權ヲ有スル者カ自己ノ所爲又ハ過  
失ニ因リテ契約ノ目的物ヲ返還スルコト能ハサルニ至  
リタルトキ又ハ加工若クハ改造ニ因リテ之ヲ他ノ種類  
ノ物ニ變シタルトキハ解除權ハ消滅ス  
契約ノ目的物カ解除權ヲ有スル者ノ過失ニ因ラシテ  
滅失又ハ毀損シタルトキハ解除權ハ消滅セス

(參照)財四一九二項四二〇佛一六四七伊一五一三二一項瑞債

務法二五四獨一章四二九四三〇同二章三〇一乃至三〇三

索九一四九一八一〇巴章二編三二二三七五

第五百四十七條 本款ノ規定ハ別段ノ定アル場合ニハ之  
ヲ適用セス

(參照)庫四二二索一四三八